

# 決算特別委員会資料

I	令和3年度 一般会計決算（環境局所管分）について	
1	歳入決算額 .....	2 P
2	歳出決算額 .....	3 P
II	<b>参考</b> 主要施策の成果 .....	4 P



環境局

# I 令和3年度 一般会計決算（環境局所管分）について

## 1 歳入決算額

(単位：円)

款	項	目	節	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
16	1	3	1 環境費負担金	1,800,000	0	0	0	0
17	1	4	1 環境使用料	2,176,000	3,108,253	3,108,253	0	0
	2	4	1 環境手数料	3,629,546,000	3,525,206,542	3,503,941,680	1,673,573	19,591,289
			環境総務手数料	23,262,000	9,384,000	9,384,000	0	0
			ごみ処理手数料	3,548,149,000	3,454,817,860	3,440,450,100	360,373	14,007,387
			し尿処理手数料	53,934,000	60,612,682	53,715,580	1,313,200	5,583,902
			申請・登録手数料 (自動車リサイクル法)	469,000	98,000	98,000	0	0
			汚染土壌処理業の 申請手数料	3,732,000	294,000	294,000	0	0
18	2	4	1 環境費補助金(国)	185,731,000	115,401,428	115,401,428	0	0
	3	4	1 環境費委託金(国)	85,521,000	60,421,308	60,421,308	0	0
19	2	4	1 環境費補助金(県)	11,841,000	11,857,000	11,857,000	0	0
	3	4	1 環境費委託金(県)	391,000	616,000	616,000	0	0
20	1	1	1 土地貸付収入	22,358,000	21,580,599	21,580,599	0	0
			2 建物貸付収入	9,581,000	9,533,260	9,533,260	0	0
	3	1	基金運用収入	72,000	11,138	11,138	0	0
21	1	3	1 環境費寄附金	40,000,000	13,802,540	13,802,540	0	0
22	1	4	1 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	4,000,000	1,529,660	1,529,660	0	0
	2	4	1 環境保全基金繰入金	52,788,000	47,128,737	47,128,737	0	0
	23	1	SDGs未来基金繰入金	75,500,000	50,687,000	50,687,000	0	0
24	1	1	3 環境費延滞金	10,000	129,000	1,900	0	127,100
	3	4	1 環境産業融資貸付金 元利収入	488,387,000	1,107,021	1,107,021	0	0
			2 つり銭準備貸付金 収入	30,000	30,000	30,000	0	0
	4	3	1 環境費受託事業収入	31,411,000	18,285,931	18,285,931	0	0
	6	3	1 違約金及び延納利息	0	14,885	14,885	0	0
			4 16 環境費雑入	4,227,618,000	4,183,147,324	4,183,147,324	0	0
			41 その他雑入	0	466,856	466,856	0	0
25	1	4	1 環境債	2,315,400,000	1,714,500,000	1,714,500,000	0	0
歳入合計				11,184,161,000	9,778,564,482	9,757,172,520	1,673,573	19,718,389

## 2 歳 出 決 算 額

(単位：円)

款 項 目	予算現額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	前年決算額	前年度比較
5 款 環 境 費	16,448,453,000	15,296,372,586	25,026,000	1,127,054,414	15,994,067,738	▲ 697,695,152
5 款 1 項 1 目 職 員 費	3,253,185,000	3,248,750,090	0	4,434,910	3,403,446,181	▲ 154,696,091
5 款 2 項 環 境 費	13,195,268,000	12,047,622,496	25,026,000	1,122,619,504	12,590,621,557	▲ 542,999,061
5 款 2 項 1 目 環 境 総 務 費	621,359,000	496,177,440	17,526,000	107,655,560	472,789,113	23,388,327
5 款 2 項 2 目 環 境 保 全 費	1,148,680,000	451,257,178	7,500,000	689,922,822	445,137,399	6,119,779
5 款 2 項 3 目 ご み 処 理 費	3,912,320,000	3,822,759,889	0	89,560,111	3,797,904,885	24,855,004
5 款 2 項 4 目 し 尿 処 理 費	334,039,000	327,786,467	0	6,252,533	365,505,420	▲ 37,718,953
5 款 2 項 5 目 工 場 費	4,842,235,000	4,694,397,544	0	147,837,456	4,425,514,604	268,882,940
5 款 2 項 6 目 環 境 施 設 建 設 費	2,336,635,000	2,255,243,978	0	81,391,022	3,083,770,136	▲ 828,526,158
歳 出 合 計	16,448,453,000	15,296,372,586	25,026,000	1,127,054,414	15,994,067,738	▲ 697,695,152

## II 参考 主要施策の成果

(単位：千円、：令和3年度新規事業)

### 1 市民環境力の更なる発展と市民協働による「北九州環境ブランド」の確立

#### ○ホラシスアジアミーティング開催事業

【決算額：10,176千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

海外の企業経営者や投資家などが参加する国際会議「ホラシスアジアミーティング」の開催は令和4年度へと延期されたが、オンライン会議への参加等を通じ、会議開催に向けた事前準備や情報発信に取り組んだ。

#### ○環境施策広報事業

【決算額：9,089千円 担当課：環境学習課 582-2784】

世界の環境首都を目指す取組や環境未来都市、SDGs（持続可能な開発目標）の認知度向上などのため、環境マスコットキャラクター「ていたん」も活用した環境広報・PRを継続して行った。

#### ○ESD 活動支援事業

【決算額：19,174千円 担当課：環境学習課 582-2784】

持続可能な社会の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育（ESD）」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、企業、大学等と連携しながら推進した。

#### ○北九州環境みらい学習システム「ドコエコ！」推進事業

【決算額：521千円 担当課：環境学習課 582-2784】

本市の恵まれた自然や充実した環境関連施設等を結びつけ、多世代の市民が意欲や能力に応じて、エコツアーなどまち全体で楽しく環境学習が行える仕組みづくりを行った。

#### ○環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理業務

【決算額：75,031千円 担当課：環境学習課 582-2784】

北九州市の環境の取組の歴史を継承するとともに、本市の環境力をさらに高めるため、学習・情報発信・活動の3つの機能を備えた、環境学習拠点「環境ミュージアム」及び家庭での省エネ型のライフスタイルを提案する「北九州エコハウス」等の管理運営を行った。

#### ○市民環境力支援事業

【決算額：11,077千円 担当課：環境学習課 582-2784】

市民環境力の持続的発展を目指し、市民・NPO、事業者など地域社会を構成する各主体が、日頃の環境活動について情報発信・啓発・交流をすることによって新たな取組を生み出す、北九州エコライフステージ事業などを行った。

### ○環境人財育成事業

【決算額：11,098千円 担当課：環境学習課 582-2784】

市民一人ひとりが環境との関わりを理解し、より良い環境・地域づくりへの意識をもって行動を起こすことのできる環境人財を育むため、「環境首都検定」「こども環境学習」をはじめとする取組を行った。

### ○地域特性型（メニュー選択方式）市民環境活動推進事業

【決算額：8,238千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

地域団体等が自主的に活動する事業（剪定枝リサイクル等）を支援し、地域における自主的な環境活動の拡大と地域コミュニティの活性化を図った。

### ○まち美化等啓発事業

【決算額：2,622千円 担当課：業務課 582-2180】

市民や企業、ボランティア団体等と一体となって「“クリーン北九州”まち美化キャンペーン」や「市民いっせいまち美化の日」等の啓発事業を実施することにより、環境美化に対する市民意識の向上を図り、清潔で美しいまちづくりを推進した。

## 2 2050年脱炭素社会の実現に向けたエネルギー施策と国際協力の推進

### ○**新**北九州市グリーン成長戦略策定事業

【決算額：19,897千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

エネルギーの全面的な脱炭素化と安価で安定的な供給体制の構築、及び企業が行う技術開発の全面的支援と人材育成によるイノベーションの早期実現を目指し、北九州市グリーン成長戦略を策定した。

※金額は令和2年度予算からの繰越分を含む

### ○**新**市内RE100実現促進事業

【決算額：23,698千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

市内中小企業に対し再生可能エネルギー100%電力化やエネルギーマネジメントに取り組むとともに、自家消費型太陽光発電設備・蓄電池およびトッパー基準を達成した省エネ機器等の導入支援を行った。

### ○**新**再生可能エネルギー人材育成事業

【決算額：3,049千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

市内の風力発電を中心とした再生可能エネルギー関連企業に対する大学生等の関心を高め、地元への就職を促進するため、「北九州市風力発電人材育成連絡会」、シンポジウム及びインターンシップなど、産学官が連携した取組を実施した。

## ○**新**「脱炭素型ライフスタイル」転換推進事業

【決算額：6,612千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

市民・企業との共創によるゼロカーボンシティの実現を目指す「KitaQ Zero Carbon」プロジェクトを始動し、新たに開設したポータルサイトにより市民が実践できる取組の方法や補助金メニュー等の情報を一元化して発信するとともに、セミナー、ワークショップを開催し、プロジェクトの浸透を図った。

## ○浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業

【決算額：36,548千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

「脱炭素社会の実現」に向けた浮体式洋上風力発電の導入可能性について、国の委託事業を活用し、自然条件や経済性の評価など、設置する上で必要となる条件等の調査を実施した。

## ○北九州水素タウン実証・PR拠点化推進事業

【決算額：10,705千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

脱炭素社会・水素社会の実現に向けて、東田地区の水素パイプラインを活用した水素関連の各種先端技術の実証を支援するとともに、本市の取組を市内外に向け広くPRした。

## ○国との連携による地球温暖化対策活動推進事業

【決算額：6,295千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

地域の企業や家庭等における、自発的な地球温暖化対策の取組を促すため、脱炭素型の行動変容を促す広報啓発等を行った。また、各種イベントにおいて、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」の啓発を実施した。

## ○水素エネルギー社会構築推進事業

【決算額：3,121千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

水素社会の実現を目指し、本市での新規事業の開拓や、水素関連企業や国・県等とのネットワーク構築等を実施した。

## ○エコドライブ・ノーマイカー普及推進事業

【決算額：200千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

自動車から排出されるCO<sub>2</sub>削減のため、企業のエコドライブ活動を支援するとともに、「ノーマイカーデー強化月間」の取組を実施し、企業・市民への定着を図った。

## ○燃料電池自動車導入助成事業

【決算額：1,465千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

燃料電池自動車（FCV）を市内に普及させるため、FCV及び外部給電器導入の一部助成を行った。

### ○バイオマスエネルギー等活用推進事業

【決算額：817千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

地域エネルギー戦略を進め、CO<sub>2</sub>削減・地域経済の成長に資するため、バイオマスを中心とした再生可能エネルギーの活用に向けた取組を検討し、推進した。

### ○北九州市役所環境・エネルギープロジェクト推進事業

【決算額：7,480千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

環境モデル都市として市役所の率先垂範を実践するとともに、エネルギーの効率的な利用に対応するための取組を推進した。

### ○アジア低炭素化センター推進事業

【決算額：12,331千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

アジア低炭素化センターの事業を推進し、環境に関する多様な技術や社会システム等を海外に輸出することで、地域経済の活性化を推進した。

### ○中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

【決算額：1,511千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

市内中小企業が所有する既存の技術・製品に関して、海外でのニーズに合わせた現地での事業可能性調査（F S）や実証試験を行うための費用の一部を助成し、市内企業の海外への技術輸出の推進を図った。

## 3 循環型社会づくりの推進

### ○北九州市プラスチックスマート推進事業

【決算額：65,148千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

世界的な課題となっているプラスチックごみ対策として、家庭ごみ指定袋等へのバイオマスプラスチック導入、不要な使い捨てプラスチック削減に向けた市民啓発、技術開発や海外事業展開の支援など、総合的な取組を行った。

### ○環境未来技術開発助成事業

【決算額：18,315千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

循環型社会及び脱炭素社会の実現に向け、環境分野の課題解決に先導的な役割を果たすことを目的とし、本市への環境技術の集積や環境産業の技術力の強化を図るため、先進的かつ実現性の高い環境技術に関する研究開発を支援した。

### ○北九州エコタウン事業

【決算額：6,348千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

循環型社会の実現に向けて、企業支援や国等関係機関との協議のほか、貸付用地の維持管理を行うなど、北九州エコタウンにおける環境技術開発の推進と環境産業の集積を図った。

### ○響灘ビオトープ運営事業

【決算額：42,543千円 担当課：環境監視課 582-2290】

「第2次北九州市生物多様性戦略（2015年度－2024年度）」の基本施策の一つである、「響灘・鳥がさえずる緑の回廊による響灘埋立地の緑の創成」の中核的な事業として整備した、響灘ビオトープの運営管理を行った。

### ○生物多様性戦略推進事業

【決算額：14,457千円 担当課：環境監視課 582-2290】

豊かな自然の恵みを活用し、自然と共生するまちの実現のため、生態系保全に関する情報交換や自然環境に関する市民啓発、市民参加による植樹などを行った。

### ○自然環境の保全と利活用促進事業

【決算額：4,223千円 担当課：環境監視課 582-2290】

自然環境の魅力を発信し、適切な保全を図るため、曾根干潟の自然環境を調査するとともに、地域や関係団体と連携したツアー型学習会などを実施した。

### ○不法投棄防止事業

【決算額：15,587千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

市内の不法投棄の未然防止や拡大防止を目的とし、監視パトロール、監視カメラの整備、市民通報員や関係団体との連携により、早期発見・早期撤去を進めるとともに、警察と連携して実行者へ厳しく対処した。

### ○産業廃棄物処理推進事業

【決算額：10,957千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理に関する許可審査・届出受付を行うとともに、排出事業者・処理業者に対する立入検査等を通じて法令遵守の徹底を図った。また、優れた排出事業者・処理業者の認定や、排出・処理動向の分析・公表、講習会の開催等による普及啓発により、市内の産業廃棄物の適正処理・3Rを推進した。

### ○食品ロス削減事業

【決算額：8,588千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

食品ロス削減対策を更に促進するため、「食品ロスダイアリー」活用により各家庭での削減意識を育むとともに、「残しま宣言応援店」キャンペーンの実施及び小売事業者等と連携した食品提供マッチングの仕組みづくり等により事業系食品ロスの削減を推進した。

### ○3R活動推進事業

【決算額：1,188千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

事業所に対する一般廃棄物の減量化等の推進や3R活動を行う団体の表彰等により、3R活動の推進を図った。



#### ○古紙・古着リサイクル推進事業

【決算額：147,183千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、回収量に応じた奨励金の支給や、資源回収用保管庫の貸与などを通じ、町内会等の市民団体による古紙・古着の集団資源回収活動を支援した。

#### ○「北九州市循環型社会形成推進基本計画」推進事業

【決算額：742千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

循環型社会の構築に向けて、SDGsの実現と脱炭素社会への貢献の視点も新たに加えた「第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定し、ごみの減量化・資源化、適正処理に関する取組を実施した。

#### ○日明地区廃棄物処理施設整備事業

【決算額：995,932千円 担当課：施設課 582-2184】

ごみの安定処理及び災害対応力の強化を図るため、老朽化した日明工場の建替工事を開始した。

### 4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境産業の推進

#### ○環境ビジネス創出支援事業

【決算額：1,870千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

市内企業が有する優れた環境技術や製品の販路拡大、及び技術連携・協業等による新ビジネスの創出を図った。

#### ○新規環境産業創出事業（北九州エコプレミアム産業創造事業）

【決算額：3,536千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

市内で生産されている環境配慮型製品や環境負荷低減に寄与するサービスを「北九州エコプレミアム」として選定し、広くPRを行うことにより、その販売を支援した。

#### ○大気汚染常時監視システム整備保守事業

【決算額：16,978千円 担当課：環境監視課 582-2290】

大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気汚染状況の常時監視を行うため、公害監視センターと市内に設置した常時監視測定局から成る測定網の整備・保守を行った。常時監視結果を本市の環境保全の推進に役立てるとともに、大気環境の現状把握に努めた。

#### ○環境対策事業

【決算額：32,288千円 担当課：環境監視課 582-2290】

環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定（環境モニタリング）などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努めた。また、市内企業を対象に、環境モニタリング結果等を共有し、環境保全を一層促進するため、環境モニタリングの結果や環境法令の概要、また不適正事案の防止策等に関するセミナーを実施した。

## ○工場・事業場監視事業

**【決算額：24,552千円 担当課：環境監視課 582-2290】**

市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法・水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守状況を監視するとともに、環境管理の取組の促進を図った。また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行った。